

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 13

★ 来館者の方からの質問事項をもとに昭和館図書室の図書を紹介します。

(書名の後の()内の数字は請求記号です。)

問 戦前から戦後にかけて発行された児童向けの雑誌を見たい。

答 主に「赤い鳥」(908 Su96)・「キング」(051 Ki43)・「子供の科学」(405 Ko21)・
「週刊少国民」(051 Sh99)・「少年倶楽部」(051 Sh96)・「少女の友」(051 Sh96)・
「幼年倶楽部」(051 Y83)などがあります。

検索方法は、雑誌名または雑誌名に該当する言葉をを直接入力してください。

図書・雑誌 → 雑誌 → 書名 → あかいとり →
検索結果一覧 赤い鳥 196件

図書・雑誌 → 雑誌 → 書名 → こどもでは、
検索結果一覧にコドモアサヒ・コドモエバナシ等、7タイトル出ますので、
読みたい雑誌を選んでください。

☆ 検索結果一覧のでた書名をタッチしないとリストは出てきません。また、
正式な雑誌名がわからない場合、漢字変換せずひらがなのまま(途中まで
でも)入力すると、より多くのものが該当します。

◆ また児童雑誌に限らず、どのような雑誌があるのか知りたい場合は
発行年月から調べるで、年月を入力して調べてください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊！！！！・・・ ⑪

鬱陶しい・・・うっとうしいって、こんな字なんだ、ホントにうっとうしい漢字ですね。

さて、鬱陶しい梅雨も山を越えたのか、もう夏の暑さが迫っているようです。本好きにとっては、読書の夏です。(秋は秋で、読書の季節ですけど、夏だって夕涼みをしながらの一冊は良いものです。)ま、夏の読書は定番のホラー・・・

早速、昭和館ご自慢の検索キーを叩きます。今回は「全資料」で引いてみましょう。まず、「怪談」で。

出ました、ラフガディオオハーン、怪談の定番、耳無し芳一や、雪女が英語で読めます・・・ああ、これは英語のテキストなんだ。

面白いことに、演芸雑誌やキネマ旬報がたくさん出てきます。これは四谷怪談や、怪談映画が多かったせいでしょうね。一冊覗いて見ませんか。

四谷怪談と言えば、お岩さんの井戸が舞台ですが、井戸と言えば昭和館のそばに、ズーット昔(江戸時代ですから)里見八犬伝などで有名な滝沢馬琴の住んでいた長屋があったそうで、長屋の井戸が史跡として残っています。筆者は、昔この井戸から10メートルも離れていない場所に住んでいましたが、唯の壊れた井戸でした。因みに子供時代を八犬伝の舞台(の一部)江戸川縁で過ごしたので、馬琴は大好きです。

と、まあ、今回もまとまりの無いもう一冊で失礼しました。(午睡)

— ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ — ・ —

— 図書室から —

梅雨、紫陽花が色とりどりに見頃になってきました。ニュースでは、昭和を代表する方々が亡くなられ感慨深いものがありますが、夏が一步一步近づいている毎日です。

*館内催し案内チラシ、ポスターにご注目ください。

昭和館では、企画展や映画会等たくさんの催しものを開催しています。

閲覧テーブルやカウンターにあるチラシ、ポスターをご覧になり、是非お立ちよりください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 13
2000年6月23日 発行
編集・発行 昭和館 図書室
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1